

令和7年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名

西東京市立東伏見小学校

校長名

中嶋 太

学校教育目標

互いの人格を尊重し、自主・自立の精神と豊かな人間性を培い、知・徳・体の調和をとりながら生涯にわたって自己実現を目指す自立した児童の育成を図る。

- 心もからだも健康な子ども「体力向上・健康増進」
- ◎ よく考え実行する子ども「問題解決能力・情報活用能力・ESDの推進」(重点目標)
- なかよくはげましあう子ども「自他理解力・人格形成力」

学校の特徴

- 下野谷遺跡・都立東伏見公園・石神井川等の地域の魅力を生かし、共に歩む学校
～「地域は教材、地域は先生、地域は教室」を基盤とした地域学習の推進～
- 夢中になれる授業を子どもたちと創る学校
～主体的・対話的で深い学びのある授業づくりを日々の授業で目指す～
- 挨拶運動や交流・体育活動を盛んにし、心も体も豊かに育てる学校
～縦割り活動や幼保・小・中連携等の活性化～
- 歴史があり、緑あふれる自然豊かな学校
～開校69年、学校園(藍や稲の栽培)・芝生の整備、生きものとの触れ合い、ビオトープの整備～
- 特別支援教室拠点校として、一人一人を大切にした教育の推進を図る学校
～一人一人の特性や課題に応じた教育活動の推進と連携の強化～
- コミュニティ・スクールとして、保護者や地域の代表者が学校運営に参画する学校
～「地域と共にある学校づくり」、「学校と共にある地域づくり」の推進～
- 地域学校協働活動の取組として、地域の中核となる取組を模索する学校
～くじら山・育成会・かっぱらっぱ・どろんこ作業所、放課後子供教室・避難所運営等～

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

<目指す学校像> 「一人一人のよさが生き、共に学び高め合っていく学校」

- 児童が安心して伸び伸びと自分の力を発揮できる学校
- かかわりを大切に「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」をはぐくむ学校
- 一人一人を大切にし、個々の課題解決を支援する学校(特別支援教育の充実)
- 保護者・地域と手を取り合い、安全・安心な環境を創り出す学校

<目指す児童像>

- 「ふれあい」「しんせつ」「みとめあい」を大切にする児童(ふ・し・みっ子)
- 「かんがえる」「まちがえる」「ふりかえる」を基調に、全力で学びを深める子(3かえる)
- 「なりたい自分」の実現に向け、主体的に学び、元気に遊び、夢をもつ児童
- 愛校心をもち、学校や地域のよさに気付き、感謝と誇りをもって共に歩む児童

<目指す教師像>

- 魅力ある授業・夢中になれる授業を創る教師
- 常に児童の心に寄り添い、児童のよさや不安に気付く眼をもち、褒めて伸ばし、みんなで守る、温かい教師
- 学校経営計画の実現に向けてPDCAサイクルを活性化させ、チャレンジし続ける教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

【確かな学力の育成】

- 知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等、バランスのとれた学力の育成
- ◎問題解決的な学習の充実と主体的・対話的で深い学びのある授業の創造

【豊かな心の育成】

- ◎自尊感情と人権尊重の精神の涵養と定着
- 目標をもって臨み、努力したり、夢をもったりできる児童の育成

【健康と体力の育成】

- 自分の健康や体力に対する関心と運動意欲・体力の向上

【地域に開く学校】

- 地域の施設や人材を活用した教育活動の一層の充実と活性化

2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

【確かな学力の育成】

- 基礎的・基本的な学習の継続的な取組を基盤とした、考える力・表す力の着実な育成
- タブレット等を活用した情報活用能力の育成と個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ◎ウェルビーイングを重視した持続可能な社会の創り手となる児童を育成する授業の推進
- ◎問題解決力の育成を柱とした「ふるさと探究学習」の計画的な位置付けと推進

【豊かな心の育成】

- 心に響く「特別の教科道徳」の授業に向け、自らの行動、生活を振り返る活動の充実
- ◎多様性を認め相互に支え合う意識の醸成といじめ防止啓発活動の充実
- コミュニケーションの第1歩である挨拶の習慣化と人と関わる活動の充実
- ◎特別支援教室の拠点校として、個に応じた指導の充実

【健康と体力の育成】

- 体力の特徴を自覚し、めあてに向かってすすんで取り組もうとする体育授業の充実
- 一校一取組運動の充実などにより、日常的な運動習慣の醸成と運動能力の向上
- 健康の増進と保健衛生の向上、規則正しい生活習慣の育成
- バランスのとれた豊かで楽しい給食活動と食育指導を通じた食への意識の高揚

【地域に開く学校】

- ◎地域の宝である下野谷遺跡を全学年の計画に位置付けるなど、地域の人材・教材を活用した活動の推進
- コミュニティ・スクールとして地域に開かれた取組の推進と地域学校協働活動の推進
- 地域、保護者と連携し、放課後居場所づくり事業等、教育課程外の取組の充実
- 情報発信の充実と、アンケート等を通じた短期スパンでのPDCAサイクルの活性化

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

【確かな学力】

- 「東京ベーシックドリル」「くじらタイム」「学習スタンダード」「読書旬間」の活用による基礎学力の定着
- 授業改善プランの推進と、「家庭学習の手引き」「チャレンジ家庭学習」を活用した家庭との連携
- 週ごとの指導計画への㊦マークの位置付け（週3日以上）と積極的活用
- 情報の収集、整理・分析、表現の活用と、自由進度に基づく学習活動の推進（学期1回以上）
- ◎学んだことを基に、自己との関わりや自らの生き方、社会の在り方について考える活動の充実
- 日々のめあて・振り返りの徹底と、すすんで問題を見だし解決に向けて追究する学習の充実
- ◎地域の人材・教材を活用した「ふるさと探究学習」の推進と伴走者としての学習支援の充実

【豊かな心の育成】

- 毎週の「特別の教科道徳」の授業における振り返りのカードやノートの充実
- ◎ふれあい月間での心を育てる取組と児童会のいじめ防止啓発活動の充実
- 子ども・保護者から信頼される、人権尊重を基盤とした「西東京あったか先生」の充実
- 「なかよし活動」や挨拶の啓発活動、出前授業や交流活動を通じた関わる活動の充実
- 特別支援教室教員を校内委員会等に活用し、個の課題に応じた指導・支援の充実
- ◎児童の実態に応じた特別支援教室の運営と指導の充実

【健康と体力の育成】

- 体力調査の課題克服を通じた体育の導入の工夫と、魅力ある体育授業の推進
- 「サニーマンデー」と「ロング昼休み」の継続的実施と、年3回の一校一取組運動の充実
- 健康教室等を通じた保健指導の充実と、生活振り返り週間等を通じた生活リズムの確立
- 給食放送や食育集会の実施、「給食だより」の工夫、給食食材の地産地消の推進

【地域に開く学校】

- ◎下野谷遺跡を活用した「ふるさと」意識、郷土の戦争遺産を基盤とした平和意識の醸成
- 年5回の学校運営協議会の充実と、地域学校協働活動による協働体制の確立
- PTA・青少年育成会・「おやくじらの会」・避難場運営協議会等の関係団体との連携
- ホームページの更新や「すぐる」の配信と、児童・保護者のアンケートの活用